

# 施策評価調書(内部評価結果)

整理番号 7

■ 総合計画(後期基本計画)

政策名	I	交流経済都市
施策名	⑥	京丹後ブランドの販売戦略

所管部局	所管部局長の氏名
農林水産環境部	吉岡 茂昭
商工観光部	新井 清宏

1 関連する個別計画 PLAN

個別計画名称	計画概要	計画年次	計画期間	備考
なし				

2 施策目的

優先順位	現状においてどのような問題や課題があって(何のために)	『何を対象に』、『どのようなことを行うことで(又はどのような手段で)』	どのような状態にしたいのか	関連する施策方針
1	京丹後ブランドが未だ確立していない中	京丹後ブランド商品の研究や開発を支援するとともに、丹後の魅力発信拠点の都市への整備・運営や情報の積極的な発信を図り	都市との交流を推進するとともに、京丹後ブランドの商品の開発、生産、販売促進を図る。	1 京丹後ブランドビジネス支援 2 丹後の魅力発信拠点整備 4 販売促進イベントの支援
2	交流による京丹後ブランドの認知を高めるため	市外在住者に京丹後市の魅力を発信し	交流人口の増加を図る。	3 京丹後ブランドの情報発信

3 目標値など

総合計画	めざす目標	指標名	総合計画作成時 (H17)		後期基本計画作成時 (H20)		直近年度実績値 (現状)		目標 (H26)	
			年度	年度	年度	年度	年度	年度		
	京丹後ブランドの販売促進を進めます	イベント・物産展数	15件	H16	45件	H20	58件	H25	60件	H26
	情報等PRの対象者を増やします	ふるさと応援団入団者数	新規	-	365人	H20	307人	H25	700人	H26

個別計画	個別計画名称	指標名	説明・備考	計画策定時	年度	直近年度実績値 (現状)		目標	
						年度	年度	年度	年度
	なし								

4 構成事務事業・評価結果一覧

DO

CHECK

施策方針	事務事業 事業内容(実績)	担当課	予算額(単位:千円)		事務事業の概要							施策評価結果			
			H25決算額	H26予算額(一般財源)	根拠法令	財政負担	単独事業	事業種別	対象	実施手法	関与必要性 数値	説明	施策目的	施策貢献度	今後の方向性
1 京丹後ブランドビジネス支援	1 プラントビジネス支援事業【方針4にも該当】	商工振興課	2,358	3,251(3,251)	なし	単費	○	サービス	事業者	直・委	2	特定サービス	1	A	現状維持
	自治体運営型通販サイト「京丹後sg」を開設、京丹後産品の情報を発信														
2 丹後の魅力発信拠点整備	2 農村6次産業推進事業	農政課	1,330	1,763(1,763)	市規定	単費	○	サービス	事業者	直・委・補	4	民間補完福祉増進	1	S	現状維持
	食と酒のPRやマッチングセミナーを開催、6次産業に意欲のある農家等に補助金を交付(2件)														
3 京丹後ブランドの情報発信	1 京丹後ふるさと応援団運営事業【再掲】I-①	企画政策課	1,243	1,286(966)	なし	単費	○	サービス	他	直・委	3	個性魅力	2	A	拡大
	ふるさと応援団登録者(307人)への情報提供及びふるさと応援大使(217人)の委嘱														
4 販売促進イベントの支援	1 プラントビジネス支援事業【再掲】方針1	商工振興課	2,358	3,251(3,251)	なし	単費	○	サービス	事業者	直・委	2	特定サービス	1	A	現状維持
	自治体運営型通販サイト「京丹後sg」を開設、京丹後産品の情報を発信														
	2 京丹後ブランドチャレンジショップ運営事業補助金【再掲】方針2	商工振興課	2,660	2,660(1,360)	なし	単費	○	サービス	事業者	補	3	個性魅力	1	A	現状維持
	「特産品ショップ・ホッと丹後」の運営、販路拡大・PR事業の実施に対し補助(販売実績16,610千円)														
	<b>計</b>		6,348	7,674(6,374)											

※ 合計金額には再掲事業を含んでいません。

5. 歳出抑制の考え方について

ACT

施策における歳出抑制の考え方	No.	歳出抑制の考え方 (平成27~29年度までの3か年で取り組む歳出抑制)	一般財源抑制見込額 (単位:千円)	補完・代替措置などがある場合は、その内容
	1	なし		

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	02ふるさと産品販売促進事業	
細事業名	05 ブランドビズ 初支援事業			決算書	P.242
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	⑥ 京丹後ブランドの販売戦略	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
2,358千円	2,359千円	1千円	99.9%	0千円	
目的	自治体運営型通販サイト「京丹後 s g」を開設し、広く全国に対して京丹後産品等の情報発信と販売を行う中で、市内事業者の新規販路確保と京丹後産品の販売促進を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>平成26年3月に自治体運営型通販サイト「京丹後 satisfaction guaranteed (通称：京丹後 s g)」を開設し、公募により集まった10事業者の商品を掲載し、京丹後産品を販売するとともにFacebookを活用して、商品・出品者や京丹後市の魅力に関する情報発信を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○開設日 平成26年3月27日 (木)</li> <li>○出展事業者 市内10事業者 (開設時点)</li> <li>○京丹後 s g システム運用業務委託料 258千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>委託先：F&amp;Bホールディングス企業連合 157千円</li> <li>(公財) 丹後地域地場産業振興センター 101千円</li> </ul> </li> <li>○京丹後 s g システム作成業務委託料 2,100千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>委託先：F&amp;Bホールディングス企業連合</li> </ul> </li> </ul>				
主な財源	府補 未来づくり交付金 (ブランドビズ 初支援事業)			1,000千円	
評価・課題等	<p>○自治体運営型の通販サイトを立ち上げ、市内事業者の新規販路を確保するとともに、市や商品・出品者に関する情報発信を行うことができた。</p> <p>○出展事業者を増やし、より多くの京丹後産品の販売促進・情報発信を行うとともに、京丹後 s g 利用者 (購入者) を増やしていくため、Facebookなどを活用しつつ周知活動をさらに展開していく必要がある。</p>				
事業所管課	商工観光部 / 商工振興課				

予算科目	06農林水産業費	01農業費	02農業総務費	03農村6次産業推進事業
細事業名	01 農村6次産業推進事業			決算書 P.210
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	⑥ 京丹後ブランドの販売戦略
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
1,330千円	1,334千円	4千円	99.7%	2,689千円
目的	本市の基幹産業である農林水産業の6次産業化を積極的に推進し、農家等の所得向上や経営の安定を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>専門委員（京都吉兆代表取締役社長徳岡氏）を委嘱して、丹後の里・山・海の豊富な食資源を活用したメニューを開発・発掘し、丹後の地酒と組み合わせるなどの方法により、丹後の豊富な食資源を地域内外に発信するため、食と酒のPRやマッチングセミナーを開催した。</p> <p>また、都市部の商工業者とのマッチング会への参加の促進や、6次産業に意欲のある農家等に補助金を交付し、販路の拡大及び新商品の研究・開発支援を行った。</p> <p>〈6次産業推進事業の主な内容〉</p> <p>①京丹後の食・酒の魅力発信の取り組み JR京都伊勢丹主催「2013京のおいしいもの展」 日時：平成25年6月19日（水）～6月24日（月）、場所：JR京都伊勢丹 参加者：（市内酒蔵）6蔵（食品・飲食店及び農業者等）14者 「丹後あじわい食マリッジセミナー」 日時：平成25年10月21日（月）、場所：アグリセンター大宮 参加者数：約20人</p> <p>②北近畿地域の農林水産物等を対象にした商談会（近畿農政局・京丹後市共催） 日時：平成25年3月4日（火）、場所：大阪府大阪市、参加者：20事業者</p> <p>③6次産業化支援事業補助金（交付件数：2件） 補助対象加工品：フルーツガーリックを活用したソース、オリーブの塩漬け</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・報酬（政策企画委員1人）100千円</li> <li>・旅費（食と酒のPR及び商談会への参加旅費）217千円</li> <li>・需用費（食と酒のPRやマッチングセミナーに係る消耗品）110千円</li> <li>・役務費（大腸菌等検査手数料）11千円</li> <li>・委託料（イベント企画運営委託料）227千円</li> <li>・使用料及び賃借料（バス借上料、有料道路通行料）115千円</li> <li>・負担金、補助及び交付金（6次産業支援事業補助金）550千円</li> </ul>			
主な財源	府補 未来づくり交付金（農村6次産業推進事業） 諸収入 マッチングセミナー参加料			500千円 22千円
評価・課題等	<p>○JR京都伊勢丹にて開催した食・酒の魅力発信の取り組みにより、丹後の里・山・海の豊富な食資源を都市部へ魅力発信することができた。また、都市部の商工業者とのマッチング会参加や加工品の開発・販売等を支援することにより、販路拡大等につながった。</p> <p>○6次産業支援事業により完成した加工品を継続・安定的に販売することにより、農家の所得を向上させる必要がある。</p>			
事業所管課	農林水産環境部／農政課			

予算科目	07商工費	01商工費	02商工振興費	02ふるさと産品販売促進事業	
細事業名	02 京丹後ブランドチャレンジショップ運営事業補助金			決算書	P.242
総合計画	基本方針	I 交流経済都市		計画項目	⑥ 京丹後ブランドの販売戦略
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
2,660千円	2,660千円	0千円	100.0%	2,660千円	
目的	他市町とも連携しつつ、「特産品ショップ ホット丹後」を起点とした都市部における丹後の情報・魅力の発信と、丹後産品の販売促進、販路拡大を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>丹後の情報・魅力発信拠点施設（アンテナショップ）である「特産品ショップ・ホット丹後」が行う、京丹後市のPR、ブランド品の紹介、販売促進、販路拡大等を図るための事業運営に対し、補助金を交付した。</p> <p>○京丹後ブランドチャレンジショップ運営事業補助金 2,660千円</p> <p>【実施状況等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホット丹後会員数 2,132人（平成26年3月末現在）</li> <li>・購入者数 年間 延べ21,635人（前年比4,519人増）</li> <li>・販売実績額 年間 16,610千円（前年比1,128千円増）</li> <li>・常設店舗外での販路拡大、PR事業（サテライト販売） KBS京都朝市、B級グルメフェスティバル等</li> <li>・その他PR事業 10/20 会員対象「丹後ツアー」の実施（参加98人 参加費3,500円） Tango Good Goods見本市会場での買い物 フルーツ王国やさか梨狩り体験 あしぎぬ温泉での温泉入浴</li> <li>・生産者による店頭販売 3業者 65回 売上2,902千円</li> </ul> <p>≪参考≫他市町補助額 490千円（宮津市280千円、与謝野町210千円）</p>				
主な財源	府補 未来づくり交付金（京丹後ブランドチャレンジショップ運営事業補助金）			1,170千円	
評価・課題等	<p>○ホット丹後会員を対象にした丹後ツアーの実施等、丹後の情報・魅力を発信する取組を行い、都市部における京丹後市と丹後産品の認知度やブランド力を向上させることができた。</p> <p>○平成25年度から運営部分を「ホット丹後出展者会」が選定する事業者に委託することにより、周辺地域住民からの認知度や魅力ある商品づくりのための情報のフィードバック体制を維持したまま効果的な店舗運営を行い、集客や売上を伸ばすことができた。</p> <p>○自主運営を目指し、より効率的な運営や新規顧客獲得のための取組の検討が求められる。</p>				
事業所管課	商工観光部／商工振興課				

予算科目	02総務費	01総務管理費	07企画費	05定住・交流促進事業
細事業名	01 京丹後ふるさと応援団運営事業			決算書 P.86
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	① 定住の促進
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
1,243千円	1,269千円	26千円	97.9%	1,223千円
目的	本市に愛着、興味又は関心を持つ本市出身者や本市への訪問者等が参加する京丹後ふるさと応援団を運営し、交流人口の増加及び定住の促進を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>本市の魅力为全国に発信し、交流人口増加と定住促進を図ることを目的に、本市に愛着、興味又は関心を持つ本市以外に在住する方で申込みのあった方を団員登録し、年3回の会報誌等の送付により本市の情報発信を行った。会報誌は本市内協賛店へも送付し、レジ横等への設置や来店者等への配布を行っていただくなど、本事業PRに協力いただいた。</p> <p>また、協力いただける団員の方を「京丹後ふるさと応援大使」に委嘱し、本市のPRと団員の拡大に努めた。更に、団員の交流と意見交換を目的に、京都市内で「団員交流会」を開催した。</p>			
	<p>応援団員数 307人  (うち、ふるさと応援大使数 217人)  市内協賛店数 45店 (平成26年3月末現在)</p> <p>【事務経費】 1,114 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 応援大使特製名刺の台紙増刷費 (13,600枚) 50 千円</li> <li>・ 応援大使特製名刺への大使名等印刷費 (89人、11,200枚) 238 千円</li> <li>・ 会報誌等発送郵便代・メール便代 88 千円</li> <li>・ 入団費払込料金取扱手数料 (120円×192人、80円×83人) 30 千円</li> <li>・ 会報誌作成委託料 (3回発行) 693 千円</li> <li>・ 消耗品費 15 千円</li> </ul> <p>【団員交流会】 129 千円</p> <p>開催日：平成26年2月9日 参加団員数：50人  場所：京都市 京都タワーホテル</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員旅費及び有料道路通行料 70 千円</li> <li>・ 会場借上料 52 千円</li> <li>・ 消耗品費 7 千円</li> </ul>			
主な財源	府補 未来づくり交付金 (京丹後ふるさと応援団運営事業)			400千円
	諸収入 京丹後ふるさと応援団入団費			275千円
評価・課題等	<p>○ふるさと応援大使に京丹後市内の名所を印刷した応援大使特製名刺を配付してもらい、全国各地で京丹後市の魅力をPRしてもらった。このPRをきっかけに来丹、団員登録された方もおられ、交流人口の増加に一定寄与した。</p> <p>○団員に対しては会報誌による定期的な情報発信や市内協賛店で割引等特典など、本市を訪れるきっかけづくりをしているが、団員数の増加が課題となっている。</p>			
事業所管課	企画総務部／企画政策課			